



経済研究所主催

社会科学研究者のための

python™ 実践テキストマイニング

2017.10/11[水] 18[水]

慶應義塾大学三田キャンパス 南館
地下4階 ディスタンスラーニングルーム

16:30▶19:45 (全2回)

講師

田村 龍一氏
稚内北星学園大学

稚内北星学園大学 情報メディア学科 准教授
2012年3月横浜国立大学 博士(経済学)、一橋大学イノベーション研究センター特任講師、
文部科学省科学技術・学術政策研究所客員研究官などを経て、2017年9月より現職。

講習内容

インターネット上に流通する商品レビュー、口コミ、ニュース記事といったテキストデータに社会科学の研究者が関心をもつキーワードが埋め込まれています。本講習会ではPythonを用いて、テキストの中からこれらの情報を抽出し、文脈に応じて分類・数値化するプログラミング技術の習得を目指します。定番技法である「Split-Apply-Combine」パターンや、インターネット上で日々更新される情報を、プログラミングによって活用する手法にも挑戦しましょう。

■講習会紹介

Python 言語の経験に応じて、2回に分けて開催します。

第1回：テキスト分析に最低限必要な Python 言語文法とデータ構造を取得し、主に構造化文書や PDF を対象としたテキストマイニング技法を習得します。

第2回：Python 言語の使用経験を前提として、非構造化テキストを用いた頻度分析及び感情分析といったより高度な分析手法を習得します。

定員 100名 (先着順) 使用言語：日本語

受講要件

Windows 7, 8, 10, Mac OSX, Linux が動くノート PC を持参可能なこと

【事前準備】Pythonプログラミング環境として、Python3が使えるAnacondaをインストールしてください。
また、日本語テキスト解析に必須となる「分かち書き」プログラムとしてMecabを用います。このプログラムおよび辞書をOS毎にコンパイルしたパッケージをサポートサイトで配布します。これらも受講前にインストールをお済ませください。

サポートサイトURL <https://goo.gl/sGrNcA>



参加資格

社会科学の諸分野で、テキスト情報を取り入れた実証分析を行いたい大学院生・研究者・実務家の方々
※事前登録が必要です。学内に限り、学部上級も参加可能です。参加希望の方は、以下フォームよりご登録ください。

<https://goo.gl/forms/2LtlwCknp2sTWOmt1>



参加申込期限：9/25(月)▶10/6(金)

講習会の初回は、Python自体これから習得しようという方を念頭に、プログラムの基本的な書き方を演習します。2回目はPython文法、基本データ構造は既知として、より実践的なプログラミング技法に集中します。習熟するためには2日間の参加が望ましいですが、1日のみの受講も可とします。

主催 慶應義塾大学経済研究所(IES) ies-office@adst.keio.ac.jp

経済研究所ウェブサイト <https://ies.keio.ac.jp/events/8290/>

